

Microsoft® Windows®
Small Business Server 2003 R2
With SP2
重要情報



メモおよび注意



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2007 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、OpenManage、および PowerEdge は Dell Inc. の商標です。Microsoft、SQL Server、Windows、および Windows Server は米国その他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Intel および SpeedStep は Intel Corporation の登録商標です。

本書では、必要に応じて上記以外の商標や会社名が使用されている場合がありますが、それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

目次

サポートされている最も低いバージョン BIOS と BMC	5
サポートされている RAID コントローラ用の ファームウェアとドライバのバージョン	7
Execute Disable (XD) および Enhanced Intel SpeedStep Technology 6 (EIST) をサポートする BIOS の最小要件	8
既知の問題	9
R2 コンポーネントのアンインストール中 に発生するイベントログエラー	9
Microsoft 管理コンソールの SQL Server 構 成マネージャに関するエラー	10
システムパーティションの推奨サイズ	10
サポートされていないプロセッサ 数の警告	11
インストール中のイベントログエラー	11
Windows Small Business Server 2003 R2 の識別	12
OS セットアップ中のページングファイ ルサイズ警告	12
Windows Small Business Server 2003 R2 Premium Edition のインストール中に DEP イベントが原因でデバッグウィンドウが 表示される	13
デュアルコアプロセッサを使用しているシ ステムで ISA Server が機能しなくなる	13
旧バージョンから SQL Server 2005 への移行	14
ネットワークケーブルを外すとシステム の起動時間が長くなる	14

ネットワーク経由のインストールがサポートされていない	15
Microsoft Exchange Server のオンラインヘルプアプリケーションにスクリプトエラーが含まれている	15
Windows Small Business Server 2003	
の追加サポート情報	15

本書には、お使いのシステムに搭載されている Microsoft® Windows® Small Business Server 2003 R2 With SP2 に関する重要な情報が記載されています。

本書では、以下のトピックについて説明します。

- サポートされている最も低いバージョン — BIOS と BMC
- サポートされている RAID コントローラ用のファームウェアとドライバのバージョン
- Execute Disable (XD) および Enhanced Intel® SpeedStep® Technology 6 (EIST) をサポートする BIOS の最小要件
- 既知の問題
- Windows Small Business Server 2003 の追加サポート情報

サポートされている最も低いバージョン — BIOS と BMC

Windows Small Business Server 2003 R2 With SP2 をサポートする Dell™ PowerEdge™ システム、および BIOS と BMC ファームウェアのサポートされている最も低いバージョンのリストを表 1-1 に示します。

表 1-1 サポートされている最も低いバージョン — BIOS と BMC

Dell PowerEdge システム	BIOS のバージョン	BMC のバージョン
現在のシステム		
800	A03	A06
830	A04	A04
840	A02	A02
860	A02	A02
1800	A07	A08
1900	1.2.0	A02
1950	1.2.0	A06
2800	A06	A09
2900	1.2.0	A04
2950	1.2.0	A04

表 1-1 サポートされている最も低いバージョン – BIOS と BMC (続き)

Dell PowerEdge システム	BIOS のバージョン	BMC のバージョン
SC420	A02	
SC430	A04	
SC440	1.2.0	
SC1420	A04	
SC1430	1.1.0	
上記以前のシステム		
400SC	A10	
500SC (Standard Edition のみ)	A07	
600SC	A09	
700	A06	
1500SC	A06	
1600SC	A12	
2400	A09	
2500	A07	
2600	A14	
4400	A11	
4600 (Premium Edition のみ)	A13	

サポートされている RAID コントローラ用の ファームウェアとドライバのバージョン

サポートされている RAID コントローラ用のシステムファームウェアおよびドライバのサポートされている最も低いバージョンを表 1-2 に示します。

表 1-2 サポートされているストレージドライバおよびファームウェア

製品および対応プラットフォーム	ファームウェアのバージョン	ドライバのバージョン
SAS 5/e	00.10.49.00.06.12.02.00	1.24.04.00
SAS 5/i	00.10.49.00.06.12.02.00	1.24.04.00
SAS 5/iR	00.10.49.00.06.12.02.00	1.24.04.00
PERC 5/e	5.1.1-0040	2.8.0.32
PERC 5/i	5.0.2-0003	2.8.0.32
Adaptec 39320A	4.30.1	3.0.0.0
PERC 4e/DC	522A	6.46.2.32
PERC 4e/Di	522A	6.46.2.32
PERC 4e/DC	522A	6.46.2.32
PERC 4/SC	352B	6.46.2.32
PERC 4/DC	352B	6.46.2.32
PERC 4/Di	252A	6.46.2.32
PERC 3/SC	199A	6.46.2.32
PERC 3/DC	199A	6.46.2.32
PERC 3/DCL	199A	6.46.2.32
PERC 3/QC	199A	6.46.2.32
PERC 3/Di	2.8.1.6098	2.8.0.6085
PERC 3/Si	2.8.1.6098	2.8.0.6085
PERC 2/Si(PE2400)	2.8.1.6098	2.8.0.6085
PERC 2/SC	3.13	6.46.2.32
PERC 2/DC	1.06	6.46.2.32
PERC 320/DC	5813	5810

表 1-2 サポートされているストレージドライバおよびファームウェア（続き）

製品および対応プラットフォーム	ファームウェアのバージョン	ドライバのバージョン
U320 SCSI RAID 0 または 1	4.30	3
39160	3.1	6.4.630.100
39320	4.30.4S5	2.0.38
1020/1030 内蔵	1.03.23	1.09.11
(CERC)SATA 2s	-	6.0.50.5
CERC SATA 1.5/6CH	4.1.0.7417	4.1.1.7040
CERC ATA 100/4CH	6.67	6.46.2.32

メモ： ドライバとファームウェアは、『Dell PowerEdge Service and Diagnostic Utilities CD』または『System Support CD』、およびデルサポートサイト support.dell.com にあります。

Execute Disable (XD) および Enhanced Intel SpeedStep Technology 6 (EIST) をサポートする BIOS の最小要件

Windows Small Business Server 2003 R2 With SP2 をサポートする Dell PowerEdge システム、および XD と EIST をサポートする BIOS の最小要件のリストを表 1-3 に示します。

表 1-3 Dell PowerEdge サーバー上で XD および EIST をサポートする BIOS の最小要件

Dell PowerEdge システム	XD のサポートに最低必要な BIOS のリビジョン	EIST のサポートに最低必要な BIOS のリビジョン
830	A04	A04
840	A02	A02
860	A02	A02
1800	A07	A07
1900	1.2.0	1.2.0
1950	1.2.0	1.2.0
2800	A06	A06

表 1-3 Dell PowerEdge サーバー上で XD および EIST をサポートする BIOS の最小要件 (続き)

Dell PowerEdge システム	XD のサポートに最低必要な BIOS のリビジョン	EIST のサポートに最低必要な BIOS のリビジョン
2900	1.2.0	1.2.0
2950	1.2.0	1.2.0
SC430	A04	A04
SC440	1.2.0	1.2.0
SC1420	A04	EIST はサポートされていません
SC1430	1.1.0	1.1.0

既知の問題

R2 コンポーネントのアンインストール中に発生するイベントログエラー

Windows Small Business Server 2003 R2 の R2 コンポーネントのアンインストール中に、イベントログエラーが発生する場合があります。この種のエラーの多くは想定内のイベントであり、システムのパフォーマンスにもデータ保全性にも影響ありません。具体的なイベントログエントリは以下のとおりです。

1001 Server Status Reports: There was a fatal error during synchronization of the Update Services groups with Group Policy or with moving Unassigned computers. (サーバースタータスレポート：更新サービスグループとグループポリシーまたは移動中の割り当てられていないコンピュータとの同期中に致命的なエラーが発生しました。)

1 SQL Browser: The SQL configuration for SQL is inaccessible or invalid. (SQL ブラウザ：SQL 用の SQL 構成がアクセス不能または無効です。)

Microsoft 管理コンソールの SQL Server 構成マネージャに関するエラー

マイコンピュータ → 管理 → コンピュータの管理 の順に進み、サービスとアプリケーション オプションをクリックすると、次のエラーが発生する場合があります。

SQL Server Configuration Manager: MMC has detected an error in a snap-in. It is recommended that you shut down and restart MMC. (SQL Server 構成マネージャ: MMC によってスナップイン内にエラーが検出されました。MMC をシャットダウンして再起動することをお勧めします。

このエラーによってアプリケーションの機能は影響を受けません。**Continue running and ignore errors with this snap-in for the rest of the session** (セッションの残りの間、このスナップインのエラーを無視して続行する) を選択し、**OK** をクリックすることで、エラーを消してかまいません。

システムパーティションの推奨サイズ

Microsoft Windows® Small Business Server 2003 R2 に含まれている Microsoft® Exchange and Microsoft Windows Server® Update Service (WSUS) の機能に必要なストレージ要件により、Microsoft では 25 GB のシステムパーティションサイズを推奨しています。25 GB 未満のパーティションで実行している Windows Small Business Server の旧バージョンからアップグレードする場合は、システムデータとアプリケーションデータをすべてバックアップし、Windows Small Business Server 2003 R2 を 25 GB 以上のパーティションに再インストールすることをお勧めします。



メモ: システム上の 12 GB のパーティションに Windows Small Business Server 2003 がインストールされており、Windows Small Business Server 2003 R2 にアップグレードする場合は、WSUS をインストールするには (いずれかのパーティションに) 空き容量を 8 GB 増やす必要があります。

サポートされていないプロセッサ数の警告

Windows Small Business Server 2003 R2 は、ハイパースレッディングが有効かどうかに関係なく、シングルコアまたはデュアルコアプロセッサ 2 個を使用するサーバーを含め、Dell™ デュアルソケットサーバーでのみサポートされています。Windows Small Business Server 2003 R2 のインストール中に、サポートされていない数のプロセッサがサーバーに検出されたことを示す警告メッセージが表示される場合があります。

サポートされているプロセッサの詳細については、

<http://support.microsoft.com/?kbid=909382> に記載されている技術情報の記事を参照してください。

インストール中のイベントログエラー

Windows Small Business Server 2003 R2 のインストール中に、イベントログエラーが発生する場合があります。この種のエラーの多くは想定内のイベントであり、システムのパフォーマンスにもデータ保全性にも影響ありません。具体的なイベントログエントリは以下のとおりです。

10005 MsiInstaller error after installing Exchange Server Service Pack 2 (Exchange Server Service Pack 2 のインストール後に 10005 MsiInstaller エラーが発生しました。)

1101 .NET Runtime Optimization after installation of SQL Server 2005 (SQL Server 2005 のインストール後に 1101 .NET ランタイム最適化が実行されました。)

256 Plug and Play notification (256 プラグアンドプレイ通知)

1000 Windows Sharepoint Server (Unable to connect to the database STS_Config) (データベース STS_Config に接続できません。)

Windows Small Business Server 2003 R2 の識別

Windows Small Business Server 2003 R2 には、Windows Small Business Server 2003 Service Pack 1 OS にはなかった一連の高度な機能が追加されています。そのため、Dell OpenManage 製品やデルの周辺機器は、OS を Windows Small Business Server 2003 R2 ではなく Windows Small Business Server 2003 Service Pack 1 として識別する場合があります。Windows Small Business Server 2003 R2 バージョンを実行していることを確認するには、**スタート サーバー管理** の順にクリックします。ホームページのバナーによって、システムで現在実行されている Windows Small Business Server 2003 のバージョンが正しく識別されます。

OS セットアップ中のページングファイルサイズ警告

Windows Small Business Server 2003 R2 のセットアップ中に次の警告が表示される場合があります。

Your paging file size may be insufficient (ページングファイルサイズが不足している可能性があります。)

この警告が表示されても OS のインストールの進行が妨げられることはありませんが、パフォーマンスの観点から、システムがより適切なページングファイルサイズを選択できるようにしておくことをお勧めします。

ページングファイルサイズの変更は次の手順で行います。

- 1 **スタート** → **コントロールパネル** → **システム** → **詳細設定** → **パフォーマンス** → **詳細設定** タブの順にクリックします。
- 2 **仮想メモリ** で **変更** を選択します。
- 3 **システム管理サイズ** をクリックします。この変更を有効にするには、サーバーの再起動が必要な場合があります。
- 4 再起動後に、デスクトップアイコン **セットアップ** をダブルクリックして OS のセットアップを再開します。

Windows Small Business Server 2003 R2 Premium Edition のインストール中に DEP イベントが原因でデバッガウィンドウが表示される

Windows Small Business Server 2003 R2 は、ハードウェアデータ実行防止 (DEP) テクノロジをサポートしています。お使いのシステムに DEP がインストールされていれば、悪質なコードの実行が防止されます。ただし、Windows Small Business Server 2003 R2 Premium Edition のインストール中は、デフォルトのワトソン博士デバッガが、Visual Studio Just In Time Debugger に置き換えられます。

したがって、データ実行エラーがある場合、Windows Small Business Server 2003 R2 Premium Edition のユーザーは、ワトソン博士の通知ダイアログボックスが表示されるのではなく、アプリケーションのコードエラーをデバッグするように求められます。いずれの場合も、悪質なコードである疑いがあるコードは実行が防止されます。

DEP の詳細については、Microsoft のサポートサイトに記載されている技術情報の記事 <http://support.microsoft.com/kb/875352> を参照してください。

デュアルコアプロセッサを使用しているシステムで ISA Server が機能しなくなる

Windows Small Business Server 2003 Premium Edition を実行しているシステムに Microsoft の Internet and Security Acceleration (ISA) Server 2004 をインストールするというオプションがあります。お使いのサーバーにデュアルコアプロセッサが搭載されており、Hyper-Threading が有効になっている場合、ISA Server 2004 が機能しなくなり、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

The system has more than 4 processors. (システムに 5 個以上のプロセッサがあります。)

この問題を解決するには、最新の ISA サービスパックをインストールすることをお勧めします。サービスパックの詳細については、Microsoft のウェブサイト <http://support.microsoft.com/?id=884569> および <http://support.microsoft.com/kb/891024/> を参照してください。

旧バージョンから SQL Server 2005 への移行

Windows Small Business Server 2003 を実行しているシステムで Microsoft SQL Server™ を使用している場合は、Microsoft SQL Server 2005 にアップグレードではなく移行することをお勧めします。



メモ: Windows Small Business Server 2003 R2 Premium Edition に付属の Microsoft SQL Server 2005 Workgroup Edition には、Windows Small Business Server 2003 Service Pack 1 Premium Edition およびそれ以前のバージョンに付属の Microsoft SQL Server 2000 Standard Edition と比較すると、大きく異なる機能や拡張された機能があります。

移行またはアップグレードの前に次の手順を行うことをお勧めします。

- データのバックアップを取ります。
- アプリケーションのアップグレードやデータ移行戦略について熟慮します。
- 非プロダクション環境で十分にテストします。

SQL Server 2005 Workgroup と SQL 2000 Standard の機能の比較、および追加情報へのリンクについては、<http://www.microsoft.com/windowsserver2003/sbs/evaluation/faq/sql2005.msp> で Microsoft Windows Small Business Server SQL の解説を参照してください。

SQL Server 2005 の情報とサポートについては、Microsoft のウェブサイト <http://www.support.microsoft.com/ph/2855> を参照してください。

ネットワークケーブルを外すとシステムの起動時間が長くなる

Windows Small Business Server 2003 R2 を実行しているシステムの場合、ネットワークケーブルを外して再起動すると、起動にきわめて時間が掛かります。ケーブルを再び接続してシステムを再起動すると、正常な速度で立ち上がります。ネットワークアダプタまたはネットワークケーブルに障害がある場合も、同様な症状が発生することがあります。その場合は、ハードウェアの問題を解決してシステムを再起動する必要があります。

ネットワーク経由のインストールがサポートされていない

Microsoft では、ネットワーク経由で、またはリモート CD ドライブで Microsoft の『再インストール用』メディアを使用して Windows Small Business Server 2003 R2 をインストールする操作をサポートしていません。この問題を回避するには、ローカルドライブで Microsoft の『再インストール用』メディアと共に Dell PowerEdge Installation and Server Management メディアを使用して、Windows Small Business Server 2003 R2 をインストールすることをお勧めします。

Microsoft Exchange Server のオンラインヘルプアプリケーションにスクリプトエラーが含まれている

Windows Small Business Server 2003 R2 (Exchange Server サービスパック 2 を含む) をインストールすると、Exchange Server サービスパック 2 がオンラインヘルプアプリケーションへの接続を試み、1 つまたは複数のスクリプトエラーメッセージを生成する場合があります。デルでは、各プロンプトで **Yes** (はい) を選択し、スクリプトを引き続き実行することをお勧めします。エラーメッセージをクリアすると、Exchange Server のオンラインヘルプの表示は正常になります。

Windows Small Business Server 2003 の追加サポート情報

本項では、Windows 2000、Windows Server 2003、または Windows Small Business Server 2003 を実行する Dell™ PowerEdge™ システムに関する情報を提供します。

以下のファイルを使用して **SCSIPOINT.SYS** ドライバを設定した場合、システムがクラッシュする (青い画面になる) 可能性があります。

- Adaptec **AARICH.SYS** バージョン 2.7.1 またはこれ以降
- Qlogic **ql2300.sys** version 9.x またはこれ以降

次のようなエラーメッセージが表示される場合があります。

Stop code of 0xD1, DRIVER_IRQL_NOT_LESS_OR_EQUAL

このエラーは、Windows Server 2000 では 2004 年 2 月よりも古いバージョン、Windows Server 2003 では 2004 年 7 月よりも古いバージョンの **SCSI Port.sys** を実行するシステムで発生します。



メモ：この問題はまた、ディスクに対する入出力操作にマップバッファを使用しない SCSI ミニポートドライバがインストールされたシステムで発生する可能性があります。特定のドライバでこのエラーが発生するかどうかが不明な場合は、デルのサポートにお問い合わせください。

この問題に対処するには、デルサポートサイト **support.dell.com** から修正プログラムをダウンロードし、インストールしてください。システムとデータの保全のために、この修正プログラムを早急にインストールすることを強くお勧めします。この修正プログラムは、Windows Server 2003 および Windows 2000 を搭載する PowerEdge システムの場合、2004 年 11 月 17 日以後にデルから出荷されるシステムのすべてにインストールされています。

修正プログラムをインストールするには、以下の手順を実行します。

- 1 すべてのアプリケーションをシャットダウンし、重要なデータをバックアップします。
- 2 デルサポートサイト **support.dell.com** にアクセスし、以下のうち該当するファイルをお使いの PowerEdge システムにダウンロードします。
 - **scsiport_w2ka02.exe** (Service Pack 4 またはそれ以前の SP が適用された Windows 2000 用)
 - **scsiport_ws03a02.exe** (Service Pack がインストールされていない Windows 2003 または Windows Small Business Server 2003 用)
- 3 **.exe** ファイルをダブルクリックします。
- 4 **Export Compliance Disclaimer** (輸出に関する規約の免責事項) ウィンドウが表示されたら、契約に同意します。
- 5 **ファイルのダウンロード** ウィンドウで **保存** をクリックしてファイルをハードドライブに保存します。
- 6 ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、解凍されるファイルの保存先を指定します。
- 7 **解凍** をクリックします。

- 8 ファイルが解凍されたら、インストールする言語を識別し、フォルダを開きます。
- 9 自己解凍形式のキャビネットファイルをダブルクリックします。
- 10 インストーラプログラムの指示に従ってインストールを完了します。
システムが自動的に再起動します。自動的に再起動しない場合は、手動で再起動してください。

これで修正プログラムがシステムにインストールされました。

